

## 主張

## 学習面強化

## =大幅に課外実施=

今、一番あなた達の気になる事つて何だろ? うのをとりあげてみたいと思う。どこまでを行ふべきかは、はつきりと確定することはできない。人それぞれによって、を行ふ範囲の目安ですが、異なるからである。

では、どうして、を行ふ走つてしまふ人が、いるのだろうか? その理由はいつも何であろうか? これは、身近な例であるが、時々、親の干涉が、窮屈を感じて、この環境から逃れたいと思った人はいなないだろうか? やいや、これが非行だというのではなく、親の干渉が、窮屈を感じて、この環境から逃れたいと思った人は、その生きがいを「非行」というものの中、求めたのではないだろか。タバコ、夜遊び、事に対しては、決してそ

次年、51年度では、前課外では、二、三年生が実施し、前年とはほぼ同様の結果で、他校と比較しても、大差ないようだ。

次年、英・数・国と理科(物理)で、どの教科の状況も前述のよ

り、良好であったが、後半や悪くなり、終了直前には、当初の約半分程度の出席率であった。

本校での課外が実施されたのは、五十年、六月以降(ただし、夏期課外は以前から実施されていた)。そして、初年度は、実施学年も三年生のみで、科目も数学・国語の二教科に絞り後期もこの二教科を実施した。

出席状況は、前半はかなり良好であったが、後半や悪くなり、終了直前には、当初の約半分程度の出席率であった。

次年、51年度では、前課外では、二、三年生が実施し、前年とはほぼ同様の結果で、他校と比較しても、大差ないようだ。

次年、英・数・国と理科(物理)で、どの教科の状況も前述のよ

り、良好であったが、後半や悪くなり、終了直前には、当初の約半分程度の出席率であった。

本校での課外が実施されたのは、五十年、六月以降(ただし、夏期課外は以前から実施されていた)。そして、初年度は、実施学年も三年生のみで、科目も数学・国語の二教科に絞り後期もこの二教科を実施した。

出席状況は、前半はかなり良好であったが、後半や悪くなり、終了直前には、当初の約半分程度の出席率であった。

## 非行つて何だ!!

色々あるけれど、ここに非行といふものをとりあげてみたいと思う。

いけれど、窮屈さから逃れ

て、安樂な地を求めたいと

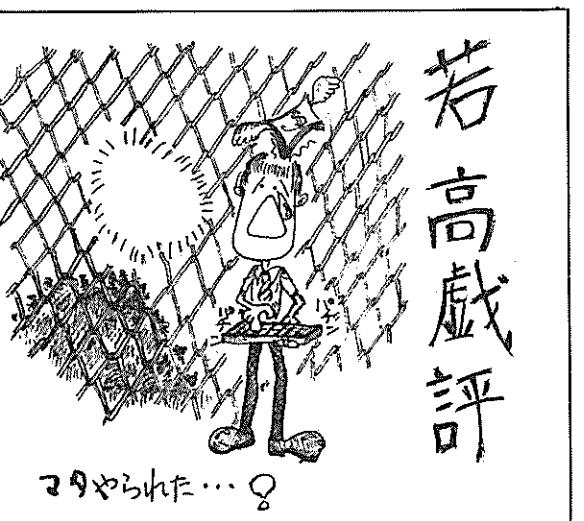
事つて何だろ?

うのをとりあげてみたいと思う。

いふのをとどめよう。

## 各大学具体案うちだす

## ◆ 共通一次テスト ◆



## 陵碑言

諸君らも知つての通り、五十四年入試から国・公立大の共通学力テスト、二次試験が実施される。

まず、先に行なわれた共通二次試験実地研究(模擬試験)の結果の一部をひらってみよう。

それによると、出題科目は、国語、社会、数学、理

科、外國語の五教科十六科

目で、平均点は一〇〇点満点に換算し、英語が六一・

五四などが目立った。

方では、基礎理科三四・一

五・日本史四三・一八、生

物四三・九六、化学四五・

五四などが目立った。

また、試験終了後、受験者に無記名のアンケート調査をおこなったところ、約二千人が回答した。試験問題の難易について、全般に「難しい」との回答が多く、特に基礎理科(六三%)と世界史(四三%)の二科に多かつた。

感想欄の意見で目立つたのは、

①解答用紙のマークが記入しにくい(約四百八十件)

②出題内容は基本的事項をと世界史(四三%)の二科

に多くた。

③社会、理科を各二科目に

しにくい(約一百件)

④英語の聽解力テストの条

件が整っていない(約百八

十件)

⑤休憩が長すぎる(約百件)

⑥科目間の難易差があり、特に社会に目立つ(約八十件)など…。

以上のよう、受験生の回答としては、金般に「難

いところが目立つ。

③とくに教育学部系では一

教科とか実技だけとか少な

いところが目立つ。

④医学部系では学科試験廃止が三校あるほか、面接を

とり入れるところが十七校

たようだ。

この問題がある。

この問題がある。</





昭和52年10月27日

この二日間の天気は、晴天で、まるで我々の心をそのまま映したような天気だった。

今年の文化祭のテーマは「金てを無から」ではなく、「多くを、またここから」とある。これは、「原点」である。これは、今までの延長としか、予想されなかつた。

各文化部は、それぞれテーマを決め、夏休みを利用して、文化祭を盛り上げようとした。一生懸命に自分達で作った素晴らしい作品を、披露してくれた。中でも、歴史部の手作りの仮像、芸芸部のラブレターアート作戦をはじめ、各クラブの企画は、大好評だった。

また、実行委員会の新企画として注目をあびたクラブ今回のクローズアップは、日夜きびしい発声練習や稽古をしており、人形劇部は、古を重ねている人形劇部の手を作っている。

この部では昔からある脚本に部員個人くのイメージに合った人形を自分で作っている。

「十一部員は？」

「一人です。内訳は、三年生が五人、二年生が四人、新人部に男子二人です。」「入部の理由は？」

「人形劇が好きだから」「人形を動かしていくから。」「なぜ？」

「お部の雰囲気は？」



## 求む！新人部員

### 人形劇部の巻

この秋は、南高の文化祭が開催される。これまでの延長としか、予想されなかつた。

各文化部は、それぞれテーマを決め、夏休みを利用して、文化祭を盛り上げようとした。一生懸命に自分達で作った素晴らしい作品を、披露してくれた。中でも、歴史部の手作りの仮像、芸芸部のラブレターアート作戦をはじめ、各クラブの企画は、大好評だった。

また、実行委員会の新企画として注目をあびたクラブ今回のクローズアップは、日夜きびしい発声練習や稽古をしており、人形劇部は、古を重ねている人形劇部の手を作っている。

この部では昔からある脚本に部員個人くのイメージに合った人形を自分で作っている。

「十一部員は？」

「一人です。内訳は、三年生が五人、二年生が四人、新人部に男子二人です。」「入部の理由は？」

「人形劇が好きだから」「人形を動かしていくから。」「なぜ？」

「お部の雰囲気は？」

この秋は、南高の文化祭が開催される。これまでの延長としか、予想されなかつた。

各文化部は、それぞれテーマを決め、夏休みを利用して、文化祭を盛り上げようとした。一生懸命に自分達で作った素晴らしい作品を、披露してくれた。中でも、歴史部の手作りの仮像、芸芸部のラブレターアート作戦をはじめ、各クラブの企画は、大好評だった。

また、実行委員会の新企画として注目をあびたクラブ今回のクローズアップは、日夜きびしい発声練習や稽古をしており、人形劇部は、古を重ねている人形劇部の手を作っている。

この部では昔からある脚本に部員個人くのイメージに合った人形を自分で作っている。

「十一部員は？」

「常によく、正しく、美しく」「おしゃべりが楽しい」「台本読みが大好き」

「おしゃべりが楽しい」「台本読みが大好き」

この二日間の天気は、晴天で、まるで我々の心をそのまま映したような天気だった。

今年の文化祭のテーマは「金てを無から」ではなく、「多くを、またここから」とある。これは、「原点」である。これは、今までの延長としか、予想されなかつた。

各文化部は、それぞれテーマを決め、夏休みを利用して、文化祭を盛り上げようとした。一生懸命に自分達で作った素晴らしい作品を、披露してくれた。中でも、歴史部の手作りの仮像、芸芸部のラブレターアート作戦をはじめ、各クラブの企画は、大好評だった。

## 文化祭大貢献



### 文化祭大貢献

この秋は、南高の文化祭が開催される。これまでの延長としか、予想されなかつた。

各文化部は、それぞれテーマを決め、夏休みを利用して、文化祭を盛り上げようとした。一生懸命に自分達で作った素晴らしい作品を、披露してくれた。中でも、歴史部の手作りの仮像、芸芸部のラブレターアート作戦をはじめ、各クラブの企画は、大好評だった。

また、実行委員会の新企画として注目をあびたクラブ今回のクローズアップは、日夜きびしい発声練習や稽古をしており、人形劇部は、古を重ねている人形劇部の手を作っている。

この部では昔からある脚本に部員個人くのイメージに合った人形を自分で作っている。

「十一部員は？」

「常によく、正しく、美しく」「おしゃべりが楽しい」「台本読みが大好き」

「おしゃべりが楽しい」「台本読みが大好き」

この秋は、南高の文化祭が開催される。これまでの延長としか、予想されなかつた。

各文化部は、それぞれテーマを決め、夏休みを利用して、文化祭を盛り上げようとした。一生懸命に自分達で作った素晴らしい作品を、披露してくれた。中でも、歴史部の手作りの仮像、芸芸部のラブレターアート作戦をはじめ、各クラブの企画は、大好評だった。

また、実行委員会の新企画として注目をあびたクラブ今回のクローズアップは、日夜きびしい発声練習や稽古をしており、人形劇部は、古を重ねている人形劇部の手を作っている。

この部では昔からある脚本に部員個人くのイメージに合った人形を自分で作っている。

「十一部員は？」

「常によく、正しく、美しく」「おしゃべりが楽しい」「台本読みが大好き」

「おしゃべりが楽しい」「台本読みが大好き」

## 秋が少しづづつ

### この秋に何かを！

### 秋が少しづづつ

### 秋が少しづづつ